

様式 1

県立鹿島学校【総合的な探究の時間計画】（令和8年度）

学校の教育目標

<p>グローバル社会で活躍する人財を育成するリーディング校として、志を抱き夢に挑戦するために確かな学力を身に付け、文武両道を具現化する学校</p> <p>○大学進学へのニーズに応えた拠点校として、理数・国際教育の充実を図り、地域及び世界のリーダーとなる人財を育成</p> <p>○地元企業、近隣に位置する医療施設、鹿嶋市等との連携により、科学技術や国際社会等に対する探究心を養成</p>

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>○知識や技能の主體的な習得</p> <p>○物事の論理的な解決力習得</p> <p>○メリハリ（勉強・行事・部活動）をもち、何事にも打ち込む力の習得</p> <p>○予測困難な未来に対応する考え方と力の習得</p> <p>○コミュニケーション能力・傾聴する力</p> <p>○シビック・プライドの醸成（社会と地域の課題に他する感性）</p>	<p>○主體的に学習に取り組む態度</p> <p>○主体性を持って協働して学ぶ態度</p> <p>○思考力・判断力・表現力</p> <p>○情報収集・整理・分析する力</p> <p>○問題点を自ら発見し、解決できる力</p> <p>○未来志向で新しい時代を生き抜く力 ※プロセスと結果を評価</p>	<p>教育相談部と連携</p> <p>○発達段階に即した指導の実践</p> <p>○定期的な面談の実施</p> <p>○校務分掌・学年・教科枠を超えた組織的指導の実践</p> <p>○習熟度別な学習、少人数教育の実践</p> <p>○安心して自分の考えを言える学びの雰囲気醸成</p>

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	<p>(1) 地域課題の探究(自由テーマ)</p> <p>①環境・自然、②教育・保育、③社会福祉、④医療・健康、⑤文化・観光、⑥産業</p> <p>(2) QC法 やプレゼンテーション技法など、探究活動の質を向上させる手法を学ぶ。また、活動報告の発表を行う。</p>	<p>鹿嶋市役所、地域内外の企業・大学の他、生徒が個々にアプローチ</p>	<p>・基礎・基本となる学力(知識・技能)を有する生徒</p> <p>・社会に目を向け、主體的に情報を活用して、他者と協働することができる生徒</p>
2年	<p>(1) 地域課題の探究(及び自由テーマ)</p> <p>①環境・自然、②教育・保育、③社会福祉、④医療・健康、⑤文化・観光、⑥産業</p> <p>(2) QC法 やプレゼンテーション技法など、探究活動の質を向上させる手法を学ぶ。また、活動報告の発表を行う。</p>	<p>鹿嶋市役所、地域内外の企業・大学、探究活動支援企業</p> <p>の他、生徒が個々にアプローチ</p>	<p>・自ら設定した課題に対し、思考の柔軟性(多角的・多面的な視点)やチャレンジ精神を持って、粘り強く取り組める生徒</p> <p>・学校外のリソースも主體的に活用する他、自らの課題解決に必要な技能・技術・能力の習得に資することができる生徒</p>
3年	<p>(1) グループで設定した探究課題をより深く考察し、検証・実験等を重ね、活動報告の発表を行う。</p> <p>(2) 進路・キャリア探究として、自身の進路に重なる分野について、個々に学びを深める。(調べ活動等を中心に)</p>	<p>鹿嶋市役所、地域内外の企業、大学の他、公的教育機関の他、生徒が個々にアプローチ</p>	<p>・国際的な視野と思考の柔軟性を持って、未来志向で主體的に物事に取り組める生徒</p> <p>・アントレプレナーシップとシビックプライドを有し、リーダーシップを発揮できる生徒</p>